

第1回日本在宅薬学会 パートナーシンポジウム

大阪 | 4月

2.5単位 取得

< 座 長 > **狭間 研至** 一般社団法人日本在宅薬学会 理事長

< 基調講演 > **赤羽根 秀宜** 先生 中外合同法室事務所 弁護士

在宅業務におけるパートナーの現状と今後の展望～薬剤師が現場で専門性を発揮するために～

現在、我が国の高齢化率は25%を超え、今後ますます超高齢社会が進んでいきます。

2025年には高齢化率が30%を超えると予想され、日本の医療形態も医療機関から在宅・介護施設へとシフトしてきています。地域包括ケアの実施、拡充が進められる中、薬剤師もチーム医療の一員として在宅現場に出て、医師、歯科医師、看護師、ケアマネジャーなど多職種と協働していくことが求められています。

薬剤師がチーム医療の中で協働するためには、非薬剤師（調剤事務員）との連携、活用がとても重要です。日本在宅薬学会では、今後、非薬剤師を対象とした教育にも力を入れ、薬剤師と協働していける人材（パートナー）を育成し、ゆくゆくはパートナー認定制度の実現を目指しています。

そのための第一歩として、今回、「在宅業務におけるパートナーの立ち位置」をテーマにシンポジウムを開催することと致しました。

本シンポジウムでは、既に非薬剤師の活用に取り組まれている薬局の調剤事務員に登壇していただき、薬局での非薬剤師の在り方などを紹介します。



日 時：2017年4月23日(日)13:00～17:00

会 員：12,000円(税込) 会 場：大阪府立国際会議場
非会員：15,000円(税込) グランキューブ大阪
調剤事務：8,000円(税込) 会議室1001,1002
学 生：10,000円(税込) 大阪市北区中之島5丁目3-51
定 員：200名

■情報交換会

日 時：17:30～20:30 会 場：研修セミナー会場近郊
参加費：4,000円



お申し込みはこちら <http://jahcp.org>

薬剤師認定制度認証機構 認証取得

在宅療養支援
認定薬剤師とは



薬剤師認定制度認証機構(CPC)に認められた、在宅療養支援分野のスペシャリスト

超高齢社会の到来により変貌する社会医療ニーズに対応するため、薬剤師としての知識・技能・態度の3項目を修得し、在宅や居住系施設で療養中の要介護高齢者の薬物治療、がん患者に対する薬剤師の専門性を生かし、他の医療職種と情報共有を密にしながら、チーム医療の一員として国民の保健、医療、福祉に貢献できる薬剤師、いわば在宅療養支援分野のスペシャリスト薬剤師といえる資格です。

一般社団法人日本在宅薬学会 在宅療養支援認定薬剤師制度は、薬剤師認定制度認証機構(CPC)の認証【P03】を受け、その発行単位は他の認定薬剤師制度と互換性を持っています。

日本在宅薬学会では、これまで3回の認定薬剤師試験を行い、現在68名の『在宅療養支援認定薬剤師』が誕生しています。第4回在宅療養支援認定薬剤師試験は2017年秋に選考書類提出締切。

2018年1月に一次試験・二次試験の実施を予定しています。

日頃の業務を活かして、諸先生方も認定試験の受験の挑戦をお待ちしています。



一般社団法人日本在宅薬学会

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-5 山西屋・西孫ビル2F
TEL 06-4801-9566 FAX 06-4801-9556
受付時間：平日9:00～18:00

開催予定 随時更新中

<http://jahcp.org>

